

Funehiki High School News vol.94

◆壮行会で地区予選大会出場選手を激励

▶選手を激励する三浦生徒会長



5月1日、本校体育館で生徒総会が開かれ、今年度の生徒会活動や部活動の年間計画について審議し、承認されました。そのあと、家庭クラブ総会が開かれ、家庭クラブの活動報告や役員紹介が行われました。生徒総会と家庭クラブ総会を通して、生徒は集中して熱心に聞いていました。

生徒総会と家庭クラブ総会の終了後、インターハイ地区予選に出場する部活動の選手壮行会が行われました。吹奏楽部が演奏する中、それぞれの部活動の選手がユニフォーム姿で入場し、大会に向けた目標や決意を述べました。生徒会長 三浦早人さん（3年3組）が激励の言葉を贈り、それを受けて卓球部男子主将 佐久間島次さん（3年3組）と女子主将 遠藤未来さん（3年4組）が「日頃の練習の成果を十分発揮できるように頑張ります」とあいさつしました。



▲意気込みを語る卓球部男子 佐久間主将

◆ひとつでも上を目指して

5月7日から17日の間に、バスケットボール・剣道・サッカー・バドミントン・陸上・卓球・バレーボール・ソフトテニスのインターハイ地区予選が行われ、剣道部・卓球部・女子バレーボール部・陸上部・ソフトテニス部が県大会への切符を獲得しました。

代表して、剣道部と女子バレーボール部に県大会への意気込みを聞きました。

●剣道部主将 橋本紘孝さん（3年3組）

私たちの県大会での目標は、1回戦を勝ち抜き、さらに上の試合に進むことです。また、3年生にとっては最後の県大会になるので、悔いの残らないように戦ってきたいと思います。

●女子バレーボール部主将 箭内汐里さん（3年3組）

私たち女子バレーボール部は、6月5日から行われる県大会に出場します。前回の大会では、残念ながら初戦で敗れてしまいました。しかし、今回の大会では、1つでも多く勝ち上がり、最終目標の「ベスト8」に入れるように、最後まで全力でプレーしたいです。

◆卓球大会で入賞

5月10日、市総合体育館で田村市長杯市民卓球大会が行われ、以下の生徒が見事入賞を果たしました。

●時間制ラリーの部 第2位

吉田秀明さん（1年2組）・石井新一さん（1年3組）ペア

●一般女子の部

第2位…堂山梢さん（1年3組）

第3位…鈴木愛理さん（1年2組）



季節の食べ物

Celeste Hidey

セレステ・ハイデイさん
(アメリカ合衆国
オハイオ州出身)

海	を	越	え	て
英	語			
	指	導	助	手
ペ	ン	リ	レ	ー
			No.	24

アメリカは、大きな食料品店があることで知られています。それを“スーパーマーケット”と呼ぶのには理由があります。欲しいものは何でも、欲しい時にみつけることができるからです。

冬にイチゴを食べたくなったら、スーパーマーケットに行きさえすれば、すぐに家でイチゴを食べることができるでしょう。あるスーパーマーケットには、8種類のリンゴが一年中置いてあります。大きくてみずみずしいスイカが、一年で最も寒い時期にも、いつでも食べることができるように、箱に入って積まれています。



私は5年前に日本に来て、田村市に住んでいますが、日本の素晴らしさの1つは、ほとんどの食べ物に季節があることです。

春はイチゴ、夏は桃、冬はミカン。ズッキーニを探すのは難しいですが、見かけた時にはとてもうれしくなります。おそらく冬に福島のおいしい桃を食べることはできないでしょうが、夏に甘くて果汁たっぷりの桃を食べることができる時には、いつでも楽しむことにしています。

外国に住むと、食べ物は自分の故国を考えるきっかけになります。

私は日本に来てからずっと田村市に住んでいるので、季節の食べ物がその産地の農村でしか食べられないのか、食べ物によっては東京でも手に入れることが難しいのかわかりません。いずれにせよ、季節の食べ物のように、一年中いつでも手に入れることのできないものに、私は感謝を覚えています。

アメリカでは、欲しいものを手に入れるために待つことは少ないので、「あたりまえのこと」として食べ物を手にしているように感じられます。食べ物がどこで収穫され、どのようにして自分の目の前に置かれるのか。お客さまがお店で食べ物をいつでも買えるようにと、多くの農家の方々がどれほど一生懸命働いているか。そういったことをアメリカ人はあまり考えないで、スーパーマーケットに行っています。季節の食べ物を食べている国の人々と同じようには、アメリカ人は食べ物に感謝しているとは思えません。

私はアメリカに帰っても、季節の食べ物への感謝を忘れないようにしたいです。食べ物を手にする時、ここに食べ物があるのをあたりまえのことと思いたくないのです。

私は、欲しいものを待つことのすばらしさを学びました。

ミカンの季節に食べるミカンをおいしくいただいていますし、果物それぞれの季節が到来した時に、その果物を食べることを楽しみにしています。

小さなことへ喜びを見つけること。人々からいただくたくさんの祝福。私たちが食べる毎日の食べ物への感謝。そして、この美しい国で過ごす時間を深く味わうこと——これらのことを私は日本から教えられています。